

平成 25 年 8 月 7 日

各 位

上場会社名 株式会社ネクスト
 代表者名 代表取締役社長 井上 高志
 (コード番号 2120 東証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員管理本部長 森野 竜馬
 (TEL 03-5783-3603)

第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月14日の決算発表時に発表した平成26年3月期第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）（以下、第2四半期）の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

なお、本日発表の「2014年3月期（平成26年）第1四半期 決算説明資料」においても、本リリース内容に関する状況を記載しておりますので、こちらも併せてご参照ください。

当社IRサイト:<<http://www.next-group.jp/ir/index.html>>

記

1. 平成26年3月期第2四半期の業績予想数値と実績値の差異について

(1) 連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,211	558	553	303	16.15
今回修正予想 (B)	6,604	920	913	523	27.84
増減額 (B-A)	+392	+362	+359	+219	—
増減率 (%)	+6.3	+64.9	+64.8	+72.5	—
(参考) 前年同期実績	5,500	942	921	525	27.99

2. 業績予想修正の主な要因

[連結売上高について]

当第2四半期のセグメント毎の連結売上高業績予想数値は以下のとおりです。

セグメント別売上高比較	不動産情報 サービス事業	その他事業	合計
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	6,160	50	6,211
今回修正予想 (B)	6,547	56	6,604
増減額 (B-A)	+386	+5	+392
増減率 (%)	+6.3	+11.0	+6.3
(参考) 前年同期実績	5,445	54	5,500

※当期より、地域情報サービス事業は全事業に対する金額的重要性が乏しくなったため、その他事業に含めて表示しています。



主力事業である不動産情報サービス事業の内、総掲載物件数No.1の不動産・住宅情報サイト『HOME'S』において、2013年11月に実施したサイトリニューアル以降、Googleに代表される検索エンジンで上位に表示されるキーワードが引き続き増加傾向にあることや積極的なブランディングプロモーション活動等により、期初を上回るペースで問合せ数が増加しており、売上高は好調に推移しております。7月においても引き続き好調であり、今後も期初予想を上回るペースで推移するものと見込んでおります。

これにより、セグメント別では、不動産情報サービス事業が、前回予想比+386百万円、+6.3%、その他事業が+5百万円、+11.0%と予想を上回る見込みです。サービス別では不動産情報サービス事業を主に構成する「賃貸・不動産売買」をはじめ、「新築一戸建て」、「新築分譲マンション」「注文住宅・リフォーム」等の主要サービスを中心に概ねすべてのサービスにおいて予想を上回る見込みです。

その結果、第2四半期の売上高を6,604百万円（対前回予想比+392百万円、+6.3%）に修正いたします。

[連結利益について]

利益面では、前述のとおり、連結売上高の業績予想が大幅に上回る見込みであるため、広告宣伝費として約100百万円追加投資する予定です。一方、コスト削減などによる費用減少等の影響を踏まえた結果、第2四半期の販売管理費は5,461百万円（対予想比+19百万円、+0.4%）となる見込みであり、営業利益を920百万円（同+362百万円、+64.9%）、経常利益を913百万円（同+359百万円、+64.8%）、四半期純利益を523百万円（同+219百万円、+72.5%）に修正いたします。

3. 平成26年3月期通期業績予想について

通期業績予想については、前述のとおり概ねすべてのサービスにおいて期初予想を上回るペースで進捗しており、利益についても好調に推移していることから、現時点では期初予想は達成できるものと見込んでおります。しかしながら、当社の業績予想は保守的な観点より開示する方針であることから、現在のところ前回発表予想のとおりとさせていただきます。

今後、業績修正が必要となった場合には速やかに開示させていただきます。

(注)業績予想に関する留意事項

上記の予想は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に関する仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により上記の予想とは異なる可能性があります。

以 上